

皆さんは、先ほど辞令をもらって、県職員になりました。
心より歓迎致します。

皆さんご承知の通り、私自身は、4月末に県知事を退任し、私の後を受け継ぐ知事候補は、目下、選挙戦中でありまして、新知事に着任してから皆さんへのお話が改めてあると思います。

そういう前提で、今日は、「島根県職員になるということはどういうことか」ということについて、私の考えを少しお話したいと思います。

まず、一番大事なことは、県庁は県民の方々のためにある組織ですから、「県民の方々のために働く」ということを、常に頭の中に入れておかなければならないということです。

職場では、県民の方々にお会いし、話をお聞きするといった機会が多くあると思います。そういった際に、「県民の方々から話を丁寧によく聞く」ということが、大変大事なことです。県民の方が「何を望んでおられるのか」、県民の方にとって「何が問題であるのか」といったことを丁寧に聞かなければなりません。そうした傾聴の姿勢を働く際の一番大事な心構えとしてください。

次に、皆さんは、これから県の各部署へと配属になり、組織の中で働くこととなります。チームで働くこととなりますから、自分だけではなく、「チームのために働く」という意識が大切です。

そして、上司、あるいは先輩、同僚がどういうふうに考えているのか、よく聞いたり、話をしたり、議論をしたりすることが大事です。

さて、今、県にとって大きな課題は、「人口減少を如何に食い止めるか」ということです。島根の人口減少の大きな原因は、日本の高度成長期に産業が発展する東京や大阪などの大都市に若い人たちが働きに出て行って子どもを産み育てる若い世代が県の中で少なくなったからです。

また、人口減少が続く島根では、農林水産業の厳しい状況、インフラ整備の遅れ、地域医療の確保、防災対策、中山間地域などでの生活機能の確保など様々な課題が山積しています。

人口減少対策として、対策は大きく言って、2つあります。一つは、産業の振興により、島根で若い人たちが安心して働ける雇用の場を増すことです。もう一つは、島根で働く若い人たちに対して、結婚、出産、子育てを支援することです。

県は、こうした対応を、適確、迅速に進めていかなければなりません。そのためには、他の先進地域を調査したり、現場、新聞、テレビ、本などから学ぶことを通して、何をしたらよいのか、何が効果があるのかということの研究し、それを実行していくことが、職員一人ひとりに求められています。

そこで、第三の心構えとなるのですが、皆さんも若いうちから自分がやっている仕事だけでなく、広く世の中に興味を持って、「皆さんの目と耳を広く外に向けて開いておく」ということが大事です。そして、「自分自身が何をしたらいいかということを考える」ことが必要です。皆さん方の若い感性で、是非、積極的にいろいろなことに関与をし、興味を持って活発にチャレンジをしていただきたいと思えます。

県の課題は沢山ありますが、平成29年の島根の合計特殊出生率は、1.72で、全国第3位となり、近年全国の上位で推移しております。島根には、豊かな自然の中に古き良き文化・歴史、特色ある地域資源、人と人とのつながりや絆の強さ、そして子育て世代や高齢者が暮らしやすい生活環境などがあります。

こうした島根の豊かさや良さを観光やUIターンなどに活用していくとともに、島根の子どもや若い人たちによく知ってもらい、後の世代に伝えていくことは、我々の責務であります。

今後も、県民の皆さんと一緒に、「子育てしやすく、活力ある地方の先進県しまね」を目指して県庁をあげて取り組んで行かなければなりません。

皆さんはそうしたチームの一員として、新たに加わったのです。皆さんの大いなる活躍を期待しまして、私からの歓迎の言葉と致します。